

## 菊川市一般廃棄物処理基本計画（案）に対する意見

### 1. P10（2）ごみ排出量の実績

コロナ禍におけるごみ量への影響について追加した文章がとてもいいです。

⇒第1回環境審議会にてご意見をいただき追記させていただきました。

### 2. P13⑥古紙リサイクルの推進、P14⑨出前講座

ごみの分別の大切さや、市としてリサイクルを推進していることについて、出前講座として小学校に行き、子供達へ話す機会があるといいのではと思いました。子供のうちから分別を習慣にすべきという点と、環境教育・SDGsを知る機会になる点、リサイクル後にどのようなものになるのか。それによって何が良いのかを知ることによって実行に結び付くと考えられる点で良いのではと思います。

⇒市内の小学4年生は環境教育として下記の環境教育を実施しています。

- ① 環境資源ギャラリーの施設見学（ごみの分別やリサイクル、ごみ減量化の大切さの説明）
- ② 水の出前教室（水の循環の仕組みや水が汚れると川にいる生物が住めなくなることなどを説明）
- ③ アースキッズチャレンジ事業（家庭でできる省エネ対策の実践）  
今後も機会があれば、そのような場を増やし、子供のころから環境への理解を深めるよう努力していきます。

### 3. P10～11(2) ごみ排出量の実績

グラフで家庭系、事業系等で色分けをしているが、同じ家庭系でもグラフにより色が違う。統一した方が良い。

⇒グラフの色を修正します。

### 4. P12(4) ごみの減量化・再生利用の実績

布団類の回収開始は減量化に逆行する印象です。開始した経緯や理由の記載が必要と思います。

資源物分別収集に奨励金交付を自治会に行っていますが、ごみの減量化対策として、他市の「生ごみ減量作戦」「雑紙回収戦略」等、基本計画P12での項目表記だけでなく、対象団体が実施した過去数年間の実績を表記したいです。

⇒布団類の回収についてですが、不要となった布団は本来廃棄物として出されますが、

現在市では資源物としての回収し、リサイクルを行っております。総廃棄物量にはカウントされますが、環境資源ギャラリーへの搬入量が減り、リサイクル率が上がります。このようなことから、減量化につながると考えています。

資源物分別収集の実績につきましては、団体ごとではありませんが、P62 に「資源物分別収集量の実績」「集団回収量の実績」として過去5年分を掲載しております。

#### 5. P34～35、38(6) ごみの適正処理

溶融スラグの有効利用を図るとしながらも H30～R1 の利用量はそれ以前と比べ 45% となっている。施設や運転上のトラブルを明記することを要望する。

⇒P21(7) ごみ処理の評価、①前計画目標の達成状況 の下から2行目に「特に平成30年度からはスラグを生成する施設の不具合及び利用先の減少によりスラグのリサイクル量が大幅に減少した。」を追加します。

表 2-15 が3行に省略されているのはなぜか。

⇒表 2-15 につきましては、資料編 P72、P74 に同様の表があるため内訳を省略させていただきました。

#### 6. P50(2) 生活排水処理の目標 表 3-5

表内「実績」欄の右側に人口比率を追加したい。

⇒人口比率を追加します。

#### 7. P49 に「ため池の保全」の記載がある。P52 の「市の取組と市民・事業者に期待される取り組み」欄にため池保全の具体策を記載してもいいのではないか。

⇒P49 では水質保全の全体像を示しております。本計画ではこの中の「一般廃棄物処理」に関する項目について、具体策等を掲載しているため「ため池の保全」については記載しておりません。

## 菊川市における一般廃棄物の現状と減量施策に対する意見

1. 菊川市のごみ総排出量が増加傾向にあることに対し、自治会レベルで調査を実施したことは素晴らしいです。

調査が入ることで、市民も意識が高まるはず。一人一人の取組が全体量に影響してくるので、減量方法の丁寧な説明も必要。県内トップクラスの少ないごみ量。引き続きがんばっていただきたい。

⇒現状に満足することなくごみ減量化に努めます。

2. 周辺市町の「ごみ減量化施策」を参考にして、予算組できそうなものがありましたら次年度の計画に乗せていただきたいです。島田市の施策としては

- ①マイグッズ運動を市民で推進し使い捨て商品の利用減
- ②生活用品活用バンクの利用促進
- ③生ごみ処理容器の普及活動

⇒参考にさせていただき、必要なものについては今後予算化、事業化させていただきます。

3. 資料2-2では、グラフを見ると一世帯当たりの袋数が最も多いところで3.46袋、最も少ないところで2.47袋です。一方コメントでは最も多い自治会で7.03袋/世帯、最も少ない自治会で1.49袋/世帯となっています。

コメントとグラフがあっていないように見受けられます。自治会1人当たりでも同様。

⇒市内には12地区あり、その中に129の自治会があります。今回の資料では、コメント欄は自治会別、グラフは地区別での表記をしております。数字はどちらも正しいですが、大変わかりにくい資料で申し訳ありません。

4. 資料2-3のグラフで、有料化後の矢印は平成21年以降は有料化したという理解でいいでしょうか

⇒市内協力店舗（8店舗）について、平成21年度から有料化しております。

## 自由意見

1. ごみの排出については、教育が必要。自治会等への出前講座を積極的に実施していることは評価できるが、大人になってからより、子供の時からの教育により正しい分別やごみ減量意識を醸成できると考える。小・中・高校生への教育の強化、推進をご検討ください。
2. この1年間では、コロナ禍の影響で個人的には月1～2回程度の外食や旅行を中止し、家庭内での自炊やたまにテイクアウトしての生活です。残飯、容器等のごみが多くなっています。資料2 2-2図1や図2のグラフでも、各地域の変化が増加していることから、「ごみ減量化」を当面は考えないで、コロナが沈静化するまで待った方が良いと思われます。